

宮崎地本だより



発行元
自衛隊
宮崎地方協力本部

編集
募集課広報班
宮崎県宮崎市東大淀
2丁目1-39

宮崎地本 第2級賞状を受賞

平成30年6月25日(月)防衛省において全国自衛隊地方協力本部長会議が行われ、陸上幕僚長山崎陸将より宮崎地方協力本部は平成29年度功績により第2級賞状を受賞しました。

また募集活動で功績を挙げた都城地域事務所の坂元曹長が優秀広報官として表彰されました。

7月6日(金)に受賞を記念し、本部において受賞記念植樹式を執り行い、本部長により奉水が実施されたハナミズキに各課長、各所長により奉水が実施されました。

本年度も4月11日の出陣式以降各種試験が実施され、また7月1日以降は高校3年生に対する募集活動も開始し、募集環境が厳しい中、宮崎地本は募集目標に向かい一丸となり、昨年以上に職務に邁進してまいります。



東京音楽隊宮崎公演

6月14日(木)、宮崎市民文化ホールで開催された海上自衛隊東京音楽隊(隊長2等海佐樋口好雄)による宮崎公演を支援しました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、開場前からたくさんの方の入場者がホール玄関前に立ち並び、開場時間になると宮崎地本のマスコットである「マモルく、カケルくん、ミライちゃん」に出迎えられました。



会場には招待者、一般入場者及び招待学生1600名の方が来場され演奏会を楽しんでいました。



演奏会では15曲が演奏され、その中でヴォーカルの三宅由佳莉3等海曹が美声を披露すると会場からは大きな拍手と歓声があがっていました。また、トランペットのソロにおいては、宮崎学園高等学校音楽科の卒業生である谷口愛奈海士長がすばらしい音色を響かせて演奏し、後輩である宮崎学園の生徒達や来場者から大きな拍手が送られていました。

植村本部長、宮崎県防衛協会女性部長の山西氏、宮崎学園の河野さんから音楽隊長、三宅3曹、谷口士長へそれぞれ花束が贈呈されました。その後アンコールへと入り、最終曲に行進曲「軍艦」が演奏されると場内の歓声は最高潮に達し、演奏会は幕を閉じました。

たまゆら

まずは、この度の平成30年7月豪雨(西日本豪雨)により被災された皆様並びにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様のご無事と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、自衛隊宮崎地方協力本部長として着任してから早2年が経過しましたが宮崎県で勤務をしていると驚かされることが多々あります。7月28日(土)「高速道路と細島港のストック効果」をアピールする総決起大会に参加した時のことです。

「ストック効果」とは、どのような効果なのかを詳しくは知りませんでした。調べてみると、ストック効果には耐震性の向上や水害リスクの低減といった「安全・安心効果」や、生活環境の改善やアメニティの向上といった「生活の質の向上効果」のほか、移動時間の短縮等による「生産性向上効果」といった社会のベースの生産性を高める効果があるとのことでした。

宮崎県には大変多くのインフラのストック効果の成功事例がありました。例えば、東九州自動車道と油津港を結ぶアクセス道路を開通させることにより、観光周遊の活性化や観光客を増加させたり、企業誘致や雇用創出を促したりしております。

将来は、九州の西側と東側を中央でつなぐ九州中央自動車道と細島港を整備することによる人口減少対策や地方創生を推進していきたいとのことでした。

このように、宮崎県は戦略的にインフラ整備に取り組んでいることが分かりました。その宮崎県の姿勢に、将来の更なる発展の可能性を感じました。

だからこそ、宮崎県において定年制及び任期制の退職自衛官を積極的に登用して頂き、退職自衛官が宮崎県で活躍できるように、われわれ宮崎地本は退職自衛官の就職支援や自衛官の募集をしっかりとやっていかなければならないと思いました。

特に、現在、宮崎県と一緒に取り組んでいる「サケの川上り作戦!」を、より具体的な施策に落とし込み推進していく必要があると感じた次第です。

(本部長 1等空佐 植村 茂己)

防衛協会総会

5月22日(火)、新富町文化会館において開催された平成30年度宮崎県防衛協会(会長 河野俊嗣)定期総会を支援しました。

総会には、会員及び宮崎県内の各部隊指揮官、来賓の総勢約100名が出席しました。

開会の言葉から始まり、国歌斉唱、物故者に対する黙祷を行った後、宮崎県防衛協会会長代理が河野会長の言葉を代読されました。

その後、第5航空団司令が祝辞を述べられ、自衛隊からの出席者の紹介へと続き、活動への協力・支援に功績のあった支部、個人に対し会長表彰を行いました。

引き続き植村本部長が「退職自衛官の活用について」と題し任期制隊員の有用性について講話を行い、参加者は興味深く聴講していました。

審議では、全議案が全会一致で承認され、総会は無事終了しました。



家族会総会

5月18日(金)、新富町文化会館において平成30年度宮崎県自衛隊家族会(会長 柳田晃)定期総会を支援しました。

総会には河野宮崎県知事、小嶋新富町長、協力諸団体の長、県内所在の各陸・海空自の駐屯地・基地司令等をはじめ、各地区会長及び会員が出席しました。



はじめに国歌斉唱、物故者に対する黙祷を実施し、柳田会長の祝辞を述べ、引き続き来賓を代表して河野知事、新富町長及び第5航空団司令熊谷空将補の祝辞を頂きました。

続いて表彰式が行なわれ、家族会活動への協力・支援に功

また、6月21日(木)、宮崎観光ホテルにおいて宮崎県防衛協会女性部会創立30周年記念大会が行われ、会場には出席者約230名が出席しました。

女性部会会長の開会の言葉で記念大会は始まり、河野宮崎県知事や各代表者、第5航空団司令により30周年記念に対する祝辞が述べられました。

各代表の祝辞等が終るとオペラの披露があり、参加者はオペラ歌手の歌声に耳を傾けていました。

休憩後、会食懇談が行われ、会食途中には余興の出し物もあり、参加者はそれぞれに会食懇談を楽しんで参加者同士の親睦を図る絶好の機会となりました。



宮崎県防衛協会女性部会 30周年おめでとうございます

績のあった方々(全国自衛隊家族会会長表彰2名、宮崎県家族会会長表彰17名)に対し県家族会会長より表彰状が手渡されました。

その後に行われた防衛講話では、第43普通科連隊長兼都城駐屯地司令(1等陸佐 廣田 耕士朗)が「日本を取り巻く近隣諸国の情勢」「陸上自衛隊の取り組み」について講話を行い、家族会会員は興味深く聞いていました。

休憩後、事業報告、収支決算報告等が行われ、審議のもと原案のとおり可決され、無事定期総会は閉会しました。

隊友会総会

6月17日(日)、宮崎市のホテルにおいて平成30年度宮崎県隊友会(会長 三浦 秀明)定期総会を支援しました。

総会には、23支部65名が出席し、国歌斉唱、会員物故者26名への黙祷に続き、会長挨拶、平成29年度事業報告・決算報告及び平成30年度事業計画と予算案について整齊と審議が行われました。

続いて表彰式が行われ、隊友会活動への協力・支援に功績のあった方々1団体28名(隊友会本部長表彰者5名、宮崎県隊友会会長表彰者1団体23

募集相談員総会

7月1日(日)、宮崎市内のホテルにおいて平成30年度募集相談員会(会長 竹下幸一)定期総会を支援しました。

総会では、会長の挨拶のあと、植村本部長が開会に際して祝辞及び「任期制退職自衛官の有用性について」の説明を実施した後、募集課長、援護課長が現在の募集状況や就職援護の状況の説明を行いました。

休憩後の定期総会では、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画等の議案を審議し、全会一致で承認されました。

その後、県内の協力団体及び主要幹部等を来賓に迎え意見交換会を実施し、相互の親睦を深めるとともに30年度の募集目標に向け、相談員と一致団結し、募集することを誓いました。



引き続き第24普通科連隊長兼えびの駐屯地司令(1等陸佐 中川 宏樹)による防衛講話「陸上自衛隊創隊以来(サケの川上り作戦)」と題して行われ会員は興味深く聴講していました。

総会終了後に実施された意見交換会では武井俊輔衆議院議員、長峯誠参議院議員、郡司行敏副知事をはじめ、県内防衛関係団体の長等、県内各部隊長を含め総勢85名の方々の出席のもと盛大に執り行われ会員個々の親睦を深めるとともに部隊、地本及び自治体との連携強化を図るなど有意義な総会となりました。

主管課長等会議



5月30日(水)、新富町総合文化センター「きらり」において平成30年度主管課長等会議が行われました。

会議には各市町村の課長等23名が参加し、募集及び就職援護の説明を受けた後、新田原基地に移動して新田原基地広報前田3佐により基地の説明がありました。

その後、飛行場において、戦闘機や救難機のパイロットによる各航空機の説明が行われ参加者は熱心に研修していました。

4協力団体25km行軍を激励

6月11日(月)、第24普通科連隊自衛官候補生教育隊が実施する25km徒步行進訓練の出発に際し、宮崎県西諸地区自衛隊協力4団体(家族会、隊友会、募集相談員会、防衛協会)約48名の協力を得て、激励会を行いました。

また、熊本県からも自衛隊協力団体5名が激励会に駆けつけました。

激励会において、各協力団体を代表してえびの市自衛隊家族会(会長 栗下 章二)が「自衛隊に入隊して2ヶ月余りが経ち、前期教育の訓練の中で一番厳しい訓練になると思いますが、同期と力を合わせて無事に完歩して下さい。」と激励の言葉を贈りました。

自衛官候補生を代表して宮崎県小林市出身、橋満亮平自衛官候補生は「みんなで力を合わせて、完歩を目指し頑張ってください。本日はありがとうございました。」とお礼を述べ、参加された各協力団体方々からの激励の声を受けて自衛官候補生は元気にえびの駐屯地を出発しました。



宮崎港小学校で防災講話

7月5日(木)、宮崎市港小学校において、小
学校保護者等に対して本部長が防災講話を行いま
した。
講話前に校長に表敬し、校長は「港小学校は海
にも近く付近には高い建物がないので、地域の避
難所になっており、29
年度は防災に対する取
り組みで文部科学大臣
より表彰を受けた」と
話しました。



また、災害に対する
自衛隊の活動記録映像
を放映し、集まった人たちに自衛官の活躍や活動
を紹介しました。
講話に参加した保護者等は、防災に対する心構
えを再認識した様子でした。

高校教諭との連絡会議を実施

6月6日(水)、都城駐屯地(参加者17名)、
6月12日(火)新田原基地(参加者19名)にお
いて、高校教諭との連絡会議を行いました。
都城駐屯地では、野外訓練場において新入隊
員の野外戦闘訓練を見学、その後駐屯地内に移
動して郷土館を見学し、都城駐屯地の歴史等を
研修した後、昼食時には新入隊員から入隊後の
感想などを聞きました。



午後から植村本部長の挨拶及び「任期制退職自衛官の有用性について」の説明に続き、連絡会議が始まり、募集状況の説明、就職支援状況等の説明を行いました。
新田原基地では、航空参考館において本部長の挨拶及び「任期制退職自衛官の有用性について」の説明に続き参加者に対

細島小学校へ

南極の水を贈呈

5月11日(金)、海上自衛隊補給艦「ときわ
が日向市細島港に入港し、運んできた南極の
水を「ときわ」先任伍長と南極観測船「しら
せ」元乗員が日向市の細島小学校全校生徒96名
に贈呈しました。



贈呈にあたり「南極の水贈呈式」を小学校体
育館で行い、中尾日向地域事務所長が見童に対
して南極大陸の歴史や
生息している動物、水
のでき方や普通の水と
の違い、南極観測船「
しらせ」の活動につい
て説明しました。
児童は興味深く説明
を聞き「水は、いつで
きたのか」「南極まで
はどのくらいかかるの
か」など多くの質問が
飛び出し、先任伍長と
「しらせ」元乗員が丁
寧に答えていました。



「南極の水」が披露目されると児童たちは
「南極の水」の溶ける音の違うのを聞き
比べて確かめていま
した。
児童たちからは「
南極に行ってみたい
」「南極の水には空
気が入っていて、溶
けるプチプチと音が
して驚いた。」など
多くの感想が寄せら
れ、それぞれが遠い
南極に思いを馳せて
いる様子でした。

して募集、援護の説明を行いました。
昼食後、エプロン地区において航空機の研修
が行われました。
参加者たちは、普段近くから見ることが出来
ない航空機を前に説明にあたった隊員に対して
質問を行い、自衛隊についての理解を深めてい
ました。

「まつり宮崎2018」に協力

8月18日(土)・19日(日)、宮崎市高千穂通
りで開催された「まつり宮崎2018」におい
て航空自衛隊新田原基地広報、海上自衛隊広報
「ブルーマリン」とともに協力しました。
初日は曇りという過ごしやすくない天候の中で開
会式が行われ、航空自衛隊のF-15J、4機に
よるオープニングフライトが開会式に花を添え
ました。



宮崎地本は「南極の水」を展示するとともに、
VRゴーグルを使い航空機のコックピットに搭
乗している感覚を来場
者に体験していただき
ました。
また、宮崎募集案内
所員と各所員が合同で
募集広報も合わせて実
施し、自衛隊に興味の
ある学生に対しての説
明を親切にわかりやす
く実施しました。
「ブルーマリン」は
ミニ制服の試着コーナ
を立ち上げ、大人から子供までたくさんの方
者に制服の試着をしてもらい、航空自衛隊が「
はたらく乗り物コーナー」で用意した軽装甲機
動車の前で記念写真を撮ってもらい来場者に楽
しんでいただきました。
会場には南極の水に涼を求めに来たり、制服
の試着に訪れる来場者で溢れていました。



新隊員からのコメント

高尾 詩織
勤務地 久留米駐屯地
出身地 日向市東郷町

Q 入隊の動機
A 昔から人の役に立つ仕事がしたいと思っ
ており、自衛隊に興味を持っていました。
東日本大震災時に活躍している自衛官の
姿を見て「自衛官になりたい」と強く思う
ようになりました。

Q 自衛隊に入隊してよかったことは
A 体力練成がたくさんあるので知らない間
に体力と筋力がつく事です。

Q 今後の目標
A 将来、国民を守る立派な自衛官になりた
いです。

Q 入隊しての感想
A 入隊前は知らない人との共同生活や、厳
しい訓練についていけないのか不安でした。
入隊してみると同期とすぐに打ち解ける
ことができ、苦しいときも嬉しいときも皆
で分かち合っていて楽しく共同生活を送って
います。

訓練についても、皆同じ1からのスター
トなので教官や班長が優しく丁寧に指導し
てくれるので、入隊前の心配はなくなりま
した。
今は毎日の訓練に頑張っています。
辛いことばかりじゃなく、楽しいことも
たくさんあるので、自衛隊に興味を持って
いる学生をはじめ周りの人に、自衛隊の魅
力を伝えていきたいです。



ビデオレター収録をする
高尾自衛官候補生



同期とともに記念撮影

今夏も艦艇が続々入港

今年の夏も県下の主要港へ「輸送艇1号」護衛艦「たかなみ」訓練支援艦「くろべ」「てんりゅう」多用途支援艦「げんかい」掃海艇「うくしま」が入港しました。

7月12日(木)、日向市細島港に宮崎において初となる「輸送艇1号」が入港し、日向市家族会女性部代表が艇長に記念品を手渡しました。



7月13日(金)には護衛艦「たかなみ」が入港し、座乗の第6護衛隊司令夏井1佐の出身地への寄港とあり、入港歓迎等多数の来場者で賑わいました。

7月20日(金)、宮崎市宮崎港に「くろべ」「てんりゅう」が入港、たくさんの方々の見学者が艦上でミニ制服の試着やVRを楽しんでいました。また、甲板上では珍しい標的機なども展示され、来場者の目を引いていました。

同日20日、日南市油津港に入港した「げんかい」では、歓迎セレモニーにおいて日南市のご当地アイドルの「ポニー・ポニー」の歌で乗員を歓迎、艦艇広報では、ミニ制服の試着等来場者に楽しんでいただきました。



予備自衛官補からの一言

奥拓馬

昨年、航空学生を受験し残念ながら最終試験で不合格となってしまいました。しかし、小さい頃からの夢であった戦闘機パイロットになることを諦められず、今年浪人をしてもう一度航空学生を受験することに決めました。この浪人している1年間で自分が入隊しようとしている自衛隊がどんな訓練を行っているかを知っておきたいと思いい、予備自衛官補を受験することにしました。

今回、予備自衛官補に採用していただきました。以後、できる限り多くの訓練に参加し、自衛隊の知識を多く身に付けられるように日々頑張っていきたいと思いいます。

富永 康平

私の抱負は将来、最終的には予備自衛官、自衛官になれるよう訓練などを頑張ることです。幼い頃より自衛官になることを夢見ていたので今回の機会を通じて自衛官としての自覚を持ち、災害等発生したときには人の役にたつ良い人材になれたいと考えています。



林 香恋

災害派遣などで活躍する自衛官をテレビなどで見て小さい頃から自衛官への憧れを持っていましたが民間の企業で働くため自衛官は諦めていたのですが、予備自衛官補という制度を知り嬉しく思いました。今回の試験を経て予備自衛官補になることができたので、これからの訓練に真剣に取り組んでいきたいと思いいます。

人事往来

【転出者】

第1航空隊へ
3等海佐 反頭 慶隆
(日南地域事務所長)

第43普通科連隊へ
3等陸佐 脇岡 武昭
(都城地域事務所長)

第113教育大隊へ
准陸尉 折元 徹志
(募集課)

第9施設群へ
1等陸曹 壹岐 早穂里
(募集課)

小林地域事務所
3等海曹 宮内 明香
(館山航空基地)

【転入者】

日南地域事務所
1等海尉 原口 小百合
(厚木航空基地)

7月9日付
2等陸佐 坂元 利浩
(都城業務隊)

7月9日付
2等陸佐 坂元 利浩
(都城業務隊)



7月9日付
2等陸佐 坂元 利浩
(都城業務隊)

7月9日付
2等陸佐 坂元 利浩
(都城業務隊)



7月9日付
2等陸佐 坂元 利浩
(都城業務隊)



7月9日付
2等陸佐 坂元 利浩
(都城業務隊)

えびの援護室長
准陸尉 谷川 克美
(第24普通科連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)



募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)



募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)



募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)



募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

宮崎募集案内所
1等陸曹 根井 隆史
(第12普通科連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)



募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

募集課管理班
陸曹長 肥後 浩昌
(第8後方支援連隊)

月日 曜日

広報班よりお願い

各事務所イベント等に参加したときは記事の投稿をよろしくお願いします。

定年退官 おめでとうございませう

5月5日付 総務課 総務班 3等陸佐 永友 壽法

4月25日付 募集課 広報班 3等陸佐 伊東 禎紀

7月7日付 都城援護センター長 1等陸尉 黒木 博



新たな職場でも頑張ってください!

長年にわたる自衛隊勤務 健康に留意され、ご活躍されますことを祈念いたします。